

こんにちは!戸田の会です。

戸田市議会会派 戸田の会レポート Vol.21(2023年1月発行)



雨水貯留管施設@杉並区和田ポンプ施設

みやうちそうこ
宮内奏子

さかいいくろう
酒井郁郎

やざわはるか
矢沢青河

あそうかずひで
浅生和英

のざわしげまさ
野澤茂雅

さとうたかのぶ
佐藤太信

ウクライナ戦争はロシアによる核使用の可能性が高まり、台湾有事が勃発かと言われる一方、国は統一教会問題一色となりました。その様子を見て、わが国の国家機能に疑問を持たれた方も多いのではないのでしょうか。国に対しては、有事や核攻撃への対応を中心課題として設定し、今後の方針を総合的に示してほしいと切に願います。

さて、戸田の会は昨年10月に来年度予算に対する会派要望を実施しました。日本を取り巻く外的環境が厳しい中でも、戸田市の課題を着実に改善していきます。今回は会派として取りまとめた予算要望の内容と、特に若年者の自殺問題とその背景にある厳しい状況に焦点を当てて特集します。

緊急
提言

市がコスト負担しホームドア設置前倒しを!



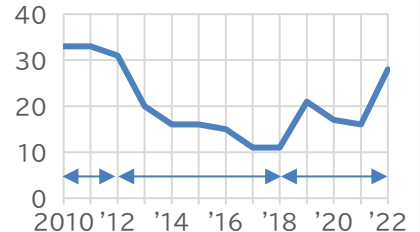
市内各駅における、あまりに頻繁な人身事故のニュース。その多くは若者たちで占められています。2022年の人身事故は12月までで7件。多くが10代、20代の若者です。戸田市にとって最優先課題の1つであることは、疑いようもありません。現状はホームドア設置の予定が立たず、連鎖的な事故の発生が強く懸念される状況です。人身事故はホームドア設置によりほぼ100%防ぐことができます。ホームドア設置の前倒しと、設置までの間の人身事故を防ぐための妥協のない取り組みを、戸田の会は強く提言します。

人身事故ゼロへの提言【戸田の会】

- 国、県を巻き込み、強力な布陣でJRに働きかけること
- 設置しやすい簡易型ホームドアを検討すること
- 戸田市による全額のコスト負担を申し出ること
- ホームドア設置までの間、駅での啓発・見守り活動、ホーム上への啓発看板、緊急停止ボタン等の設置を行うこと

【コラム】戸田市の自殺者数

直近10年間、3つの時期のあることがわかります。社会情勢が悪化するたびに弱者が追い込まれるのが現状です。自殺を防止するシステムを作り、危機に備えることが必要です。(→4面「若者支援の強化を!」の記事に続く)



第1期:リーマンショック('08~'12)

→失業苦の中高年男性が中心

第2期:景気回復で大幅減('13~'18)

第3期:増加傾向('19~)

→コロナ禍、女性・学生のみ増加中



酒井郁郎

代表・無所属・4期
1975年3月4日生
【経歴】東京大学
医学部卒業・修了、
マッキンゼー(経営
コンサルタント)、
(株)ポピンズ(保育)、
医学教育事業

ランドセルが重すぎる。

教科書の大型化、パソコン授業の導入により、小学生の荷物が重くなっており、保護者から「パソコン持ち帰りはいけない」の声を多く聞きます。現場への依頼が不十分であると、重量制限を徹底するよう要請しました。

プールの効果アップを！

プール授業は1年に数回程度。25m泳げることを目標に責任を持って取り組むこと、スポーツクラブに委託してプロの指導を仰ぐことなどを提案しました。

パソコン不健全使用の防止を！

学校のパソコンについて、使用時間が長すぎる、画面が明るすぎる、画面と目の距離が近い、YouTubeの映像やゲームを見ている等、課題になっています。教育委は「各家庭でのルール作り」を呼びかけていますが、学校パソコンは各家庭で買い与えるゲームやスマホとは違います。使用方法についても教育委が徹底し、確認すべきではないでしょうか。



障がい者就労を身近に！

本市は国が示す法定雇用率を満たしていないものの、職員としての採用をはじめ、衛生センターに併設されたフラワーセンターでは多くの障がい者が花苗の育成に従事するなど、積極的に障がい者就労に取り組んでいる。今後、法定雇用率に加算されなくとも、就労の機会を幅広く提供できるよう検討が必要と考える。最近では、就労の意思とは裏腹に寝たきりや通勤ができ



▲分身ロボ オリヒメ

ないという理由で働けない状況にある人向けに分身ロボットを介しての就労が注目され、自治体での採用も少なくない。

《導入例》

- さいたま仕事センターで利用者へ対応窓口のご案内等をおこなっている
- 平塚市役所の福祉ショップで来訪者へ案内や声掛けをおこなっている
- 港区(東京)では、福祉売店において商品の案内や、物品販売業務をおこなっている
- 群馬県庁32階のカフェでは、スタッフとして働いている。

障がい者が就労においても自己決定ができる環境を整える必要がある。



浅生和英

幹事長・無所属・2期
【経歴】法政大学
卒業、山一証券、
美容室VASE
【資格】社会福祉士
精神保健福祉士
【議会】文教・建設
委員会(委員長)

視覚障害者の歩行環境の整備を！

佐藤 視覚障害者より歩行環境の改善の相談を受けた。①点字ブロック、車止めポールの整備を。



▲エスコートゾーン

②エスコートゾーン設置を。③点字ブロックの設置・管理にあたり不適切な事例



▲狭い道に車止め

都市整備部 ①歩道を対象とした臨時巡回を実施し、点字ブロックが不適切に設

置されている箇所を点検する。車止めポールは、横断歩道から歩道に動線を妨げないよう配慮する。②市内にエスコートゾーンはなく、警察と連携して今後設置を検討する。③国のガイドラインと整備事例によって、技術の継承に努める。

福祉部専門職の配置を！

佐藤 障害者施策を多角的な視点で考えるために、計画策定を含め「障害者施策」の推進を担う専門知識や経験を有する職員の採用を検討しては。

健康福祉部 有効な手段と考える。総務部と調整して検討する。



佐藤太信

無所属・2期
【経歴】中央大学、
大正大学院卒業・
修了、東京電力(株)、
児童福祉施設、
乳幼児教育相談、
スクールカウンセラー
【資格】臨床心理士



矢沢 青河

無所属・2期
1986年5月21日生
【経歴】鹿児島大学卒、FM放送局、埼玉県議秘書7年(菅原文仁現市長)
【所属】消防団(第七分団)、防災士

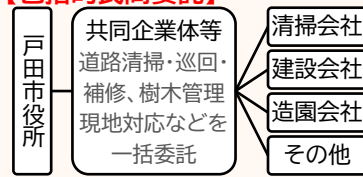
道路等包括管理導入を!

- 建設から40年急速な老朽化が進む道路
 - 若者離れ慢性的な人材不足の建設業界
 - 要望・現場対応に日々忙殺される市職員
- 道路等のインフラの適正な維持管理を行うためには、地元企業を守りつつ、職員が長寿命化や管理手法などの調査・立案を行えるよう負担を軽減することが必要です。

【従来の管理】



【包括的民間委託】



- ➔ 包括管理により委託事務が大幅削減、職員にしかできない業務に注力できる。
- ➔ 包括会社と地元企業が市を挟まず、直接やり取りでき、修繕などの迅速な対応が可能に。

府中市や三条市では、道路等の「包括管理」の導入により、委託コストの削減や市職員の業務負担軽減が実現。更に地元企業も契約年数や業務範囲が拡大したことにより、安定した収益確保が期待され、民間の創意工夫や設備投資等の余地が生まれました。戸田市でも公園の包括管理を導入し、公園リニューアルへの人員投入など実績があります。包括管理の更なる活用を期待します。

更年期障害対策を!

野澤 更年期障害に関する国の調査では、40代50代女性30%前後、男性10%前後。本市の現状および調査は。

不安 心配
モヤモヤ イライラ
ホットフラッシュ
動悸 息切れ

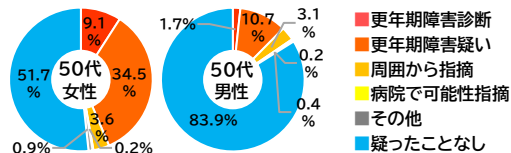


健康福祉部 今後、国の厚生労働科学研究にて詳細な調査を実施する。

その結果も見ながら調査研究する。

野澤 症状自覚者への支援相談体制は。

▼厚生省「更年期障害に関する意識調査」(令和4年3月)



健康福祉部 5名の保健師での心身健康相談にて受診勧奨や生活指導を実施。

野澤 更年期症状による離職や職場での偏見対策として、健康相談窓口の周知と同時に企業向けの周知活動が必要では。

健康福祉部 労働者や企業向けの厚労省HP等を活用するなどして、市HPでも掲載し、経済戦略室とも連携しながら市民や企業に向けての周知を図る。

<その他の質問>

野澤 中学校制服のボトムスについて、色デザインの基準を決めた自由化はどうか。

教育委員会 制服の変更は生徒保護者学校で決定する。校長会に情報提供する。



野澤 茂雅

無所属・1期
【経歴】東京理科大学卒業、システムエンジニア、IT関連会社代表、保育園保護者会後援会会長、小中学校PTA会長、町会副会長



宮内 奏子

無所属・1期
【経歴】慶應義塾大学英米文学科卒業、翻訳者として特許事務所・翻訳会社に勤務後独立
【資格】英検1級、TOEIC970点

戸田市の産前産後支援のさらなる充実を!

宮内 出産後の女性の身体は「交通事故の全治1か月と同じレベル」と例えられている。出産は幸せな出来事であるが、女性は妊娠や出産をきっかけに社会的に弱い立場になりやすく、社会から孤立しやすくなってしまいます。出産をきっかけに夫婦の仲が悪くなる「産後クライシス」を周知徹底するとともに、事前に予防する取り組みをしてはいかがか?



こども健やか部 「パパママ教室」では産後の母親の心身の変化を父親に理解を促し、妊娠届時にも、産後の母親の心身の変化や、パートナーシップの在り方について周知啓発をさらに充実していく。

宮内 「父子手帳」を交付する自治体も増えているが、戸田市でも「子育てガイド」の中に「お父さん向けの子育て特集」を組むことで、夫婦が助け合って子育てをしていく手助けをしてはいかがか?

こども健やか部 夫婦が産後に遭遇する大きな変化を伴う育児生活を、どのように夫婦で乗り越えるかを記した内容の「父親向け冊子」の配布も検討していく。

追い込まれる
若者急増中！

子どもや若者のサポート強化を！

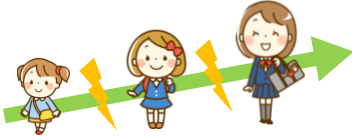
ここ数年、コロナ禍により十分に活動できない若者、生活困窮の若者が多く、教育機会を受けられない、あるいは引きこもりや自殺といった問題が深刻となっています。戸田の会は、定時制高校の生活指導で若者支援をしている先生方との意見交換を行いました。(2021年9月21日、2022年9月29日)



(県)吹上秋桜高校の神宮先生、堀口先生

▼子どもを取り巻く課題と対策

1.切れ目のない支援を



タテワリの壁により情報が共有されないため、支援が途切れる

→一貫した支援、情報の引継ぎを

2.家庭全体のサポートを



本人の相談しかできない(家族介護、弟妹の世話は別窓口)

→すべての課題に「伴走型」支援を

3.介護や家事もサポートを



ヤングケアラーなど、家族の介護、弟妹の世話の負担が重い。

→介護、家事ヘルパー利用支援を

子ども達が抱える問題の裏には、家庭の貧困や介護などの課題が潜んでいます。そして、子ども達は自ら助けを求めることはありません。だからこそ、日常の小さなサインを見逃さないよう、常駐した相談員、一貫した支援と情報の引継ぎなど、子どもを支える体制が必要です。

会派要望

令和5年度予算への要望を提出！

10月6日に菅原市長へ提出した令和5年度予算への125項目の会派要望(一部抜粋)をご報告します。

広報「戸田市」の全戸配布

全市民へ届き、町会負担も軽減される広報誌の全戸配布を！



学校等の公共施設の再編

市民も利用できる運動施設や音楽室など、協働の公共施設の検討を！



子ども若者総合相談支援

0～30歳までの総合相談で家庭問題・引きこもり等の早期発見・継続支援を！



青少年の学習・居場所の確保

学校や図書館等の空きスペースを活用し、学習・居場所確保を！



障がい児・者の親なき後の支援

民間と連携した雇用促進やグループホームなど居場所の確保を！



高齢者などバス無償化

tocoバス、路線バスの無償化で交通弱者の足の確保を！



中高年の健康づくり支援

公共の運動拠点や民間ジム等の活用で健康づくりを！



市内3駅のホームドア設置

急増する若者等の自殺。国・JRとの連携でホームドア早期設置を！



大規模施設周辺の安全対策

大型車や渋滞等の増加に伴う子どもや近隣住民の安全対策を！



戦争や核、地震などの備え

地震等に加え、核攻撃や紛争への想定と備えを！



防犯カメラ増設

防犯カメラの増設とともに犯罪抑止効果を高める啓発看板等の設置を！



ボートコースや河川の水害対策

越流堤改善やさくら川の治水など内水の水害対策を！

